

令和6年度 高田地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

≪地域の現状≫

高田駅周辺は商店や医療機関が集中し利便性が良いが、地域全体を見渡すと山坂が多いエリアもあり買い物や通院等に不便を感じている傾向にある。区内でも高齢化率は高く24%を超え、独居や老老世帯が増加傾向にある。自治会町内会を中心に関連団体の活動が活発で様々な行事が開催されている。小中学校との関係も良好で情報共有をしやすい関係にあります。

≪今後の方向性≫

地区が掲げる「みんなが笑顔 助け合いのまち高田」のスローガンをともにすすめていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域活動の魅力を発信し多様なスキルを持った人材と地域活動団体との橋渡しをする。年齢や障害の有無に関わらず誰でも活躍できる機会づくりを支援する。住み慣れたまちで生活が出来るよう包括的な支援、サービス提供の仕組みを構築する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	個別相談時や地域の会議出席時、地域の方との会話等でニーズ把握。そのために地域支援記録の記入・分析をする
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	課題の共有で終わるのではなく、課題解決のヒントやきっかけとなるような懇談会(会議)としていく。そのための手段のひとつとして、小グループでのワークを取り入れるなど参加者同士が情報交換しやすい場の提案をしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域住民や学校、企業向けなど多方面へ広く認知症サポーター養成講座を開催する。さらに希望者には認知症サポーターフォローアップ講座を開催し、より深く認知症を理解してもらう。そして認知症の方とも共に安心して生活できる環境を作っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	出来る限り自立した生活が送れるように介護予防事業等(ハツラツ！高田等)を通じて、介護予防に関する知識の普及と活動継続を支援する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

# 令和6年度高田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスが特定の利用者や事業者、団体に偏ることが生じないよう、業務マニュアル等で確認する。</li> <li>・苦情の申立等を理由に不利益が生じないようにしていく。</li> <li>・不信任や誤解を招くような言動は避け、真摯に対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故要因の早期発見を意識し、予測可能な事故は未然防止に努める。</li> <li>・個人情報の取扱いについては定期的な研修実施や事例を通して注意喚起を促す。</li> </ul>
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の意欲を引き出し、自立支援を促すプランを作成していく。</li> <li>・研修会等には積極的に参加し、個々のスキル向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターと連携し、支援困難ケースの受入れを積極的に行う。</li> <li>・専門職としてのスキルを向上させるため、他事業所主催の事例検討会等にも参加をしていく。</li> </ul>
利用料金	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	<b>【その他料金】</b>	<b>【その他料金】</b>
職員体制	管理者:常勤1名 担当職員:常勤2名(地域包括支援センター職員を兼務)	管理者:常勤1名(介護支援専門員を兼務) 介護支援専門員:常勤3名(専従2名、兼務1名)
契約者数		

## 3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の生活の質の向上を目指して利用者にあった個別のサービスを提供していきます。		
実施体制	<b>【実施日数】</b> 週6日(日曜休み) <b>【提供時間】</b> 9:30~16:30 <b>【定員】</b> 1日につき40名(通所介護・第1号通所事業を合わせた人数)	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>

利用 料金	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	<b>【サービスに係る費用】</b> 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	<b>【その他料金】</b> ●食費:700円(1食あたり)	<b>【その他料金】</b>	<b>【その他料金】</b>
職員 体制	●管理者:常勤1名 ●生活相談員:常勤2名(介護職兼務) ●介護職員:常勤2名、非常勤14名 ●看護師:非常勤5名(機能訓練指導員)		
契約 者数 等	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>

令和6年度「高田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,724,184		19,724,184		19,724,184	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	4,400,169		4,400,169		4,400,169	
収入合計	24,124,353	0	24,124,353	0	24,124,353	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,176,000	0	12,176,000	0	12,176,000	
本俸	8,500,000		8,500,000		8,500,000	
社会保険料	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
手当計	2,550,000		2,550,000		2,550,000	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000		6,000	
退職給付引当金繰入額	80,000		80,000		80,000	
その他			0		0	
事務費	2,853,560	0	2,853,560	0	2,853,560	
旅費	20,000		20,000		20,000	
消耗品費	500,000		500,000		500,000	
会議随費			0		0	
印刷製本費	200,000		200,000		200,000	
通信費	250,000		250,000		250,000	
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	0	10,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560		10,560	
その他			0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	3,000		3,000		3,000	
リース料			0		0	
手数料	150,000		150,000		150,000	
地域協力費			0		0	
その他	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
事業費	306,000	0	306,000	0	306,000	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000		264,000	
その他			0		0	
太陽光パネル保守点検	55,000	0	55,000	0	55,000	
太陽光パネル保守点検	55,000		55,000		55,000	
太陽光パネル修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0		0	
管理費	8,259,793	0	8,259,793	0	8,259,793	
光熱水費	2,750,000		2,750,000		2,750,000	
清掃費	1,700,000		1,700,000		1,700,000	
機械整備費	200,000		200,000		200,000	
設備保全費	2,010,000	0	2,010,000	0	2,010,000	
空調衛生設備保守	350,000		350,000		350,000	
消防設備保守	60,000		60,000		60,000	
電気設備保守	50,000		50,000		50,000	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000		50,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
共益費			0		0	
その他	1,599,793		1,599,793		1,599,793	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	24,124,353	0	24,124,353	0	24,124,353	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	0	264,000	
自主事業 収支	△ 264,000	0	△ 264,000	0	△ 264,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和6年度「高田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,224,273		25,224,273		25,224,273	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,946,720		5,946,720		5,946,720	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			2,035,000		2,035,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	33,359,993	0	33,359,993	0	33,359,993	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,885,000	0	27,885,000	0	27,885,000	
本俸	21,000,000		21,000,000		21,000,000	
社会保険料	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
手当計	850,000		850,000		850,000	
健康診断費	35,000		35,000		35,000	
勤労者福祉共済掛金	50,000		50,000		50,000	
退職給付引当金繰入額	450,000		450,000		450,000	
その他	2,500,000		2,500,000		2,500,000	
事務費	2,462,560	0	2,462,560	0	2,462,560	
旅費	50,000		50,000		50,000	
消耗品費	400,000		400,000		400,000	
会議購入費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	100,000		100,000		100,000	
通信費	250,000		250,000		250,000	
使用料及び賃借料	10,560	0	10,560	0	10,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560		10,560	
その他			0		0	
備品購入費	500,000		500,000		500,000	
図書購入費	20,000		20,000		20,000	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	2,000		2,000		2,000	
リース料	50,000		50,000		50,000	
手数料	120,000		120,000		120,000	
地域協力費			0		0	
その他	900,000		900,000		900,000	
事業費	1,081,000	0	1,081,000	0	1,081,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	150,000		150,000		150,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000		151,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	150,000		150,000		150,000	
その他			0		0	
管理費	1,805,433	0	1,805,433	0	1,805,433	
光熱水費			0		0	
清掃費	400,000		400,000		400,000	
機械警備費	40,000		40,000		40,000	
設備保全費	1,320,000	0	1,320,000	0	1,320,000	
空調衛生設備保守	80,000		80,000		80,000	
消防設備保守	15,000		15,000		15,000	
電気設備保守	15,000		15,000		15,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
共益費			0		0	
その他	45,433		45,433		45,433	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	33,359,993	0	33,359,993	0	33,359,993	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	451,000	0	451,000	0	451,000
自主事業 収支	△ 451,000	0	△ 451,000	0	△ 451,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 高田地域ケアプラザ

6年4月1日~7年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援(第1号介護予防支援含む)			居宅介護支援			通所介護(第1号通所介護含む)		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	12,170		12,170	19,537		19,537	78,158		78,158
	その他	0	0	0	0	0	0	5,700	0	5,700
	事業・負担金収入			0			0			0
	食費			0			0	5,700		5,700
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>12,170</b>	<b>0</b>	<b>12,170</b>	<b>19,537</b>	<b>0</b>	<b>19,537</b>	<b>83,858</b>	<b>0</b>	<b>83,858</b>
支出	人件費			0	15,160		15,160	53,410		53,410
	事務費			0	3,000		3,000	20,000		20,000
	事業費			0			0	10,000		10,000
	管理費			0			0			0
	その他	8,304		8,304	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0
	消費税			0			0			0
	介護予防プラン委託料	8,304		8,304			0			0
				0			0			0
	その他			0			0			0
	<b>支出合計(B)</b>	<b>8,304</b>	<b>0</b>	<b>8,304</b>	<b>18,160</b>	<b>0</b>	<b>18,160</b>	<b>83,410</b>	<b>0</b>	<b>83,410</b>
	<b>収支(A)-(B)</b>	<b>3,866</b>	<b>0</b>	<b>3,866</b>	<b>1,377</b>	<b>0</b>	<b>1,377</b>	<b>448</b>	<b>0</b>	<b>448</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1: 地域活動交流事業    2: 地域包括支援センター運営事業
- 3: 生活支援体制整備事業    4: 共催 (1と2)    5: 共催 (1と3)
- 6: 共催 (2と3)    7: 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1: 優先的に取り組みが求められる事業
- 2: 福祉保健活動に発展させることを  
ねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1: 高齢者    2: 障害児・者    3: 養育者及び乳幼児
- 4: 子ども・青少年    5: 地域    6: 事業者
- 7: その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	たかたの丘サロン	平成29年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	自宅にひきこもりがちな方や、仲間作りをしたい方などを対象に、出入り自由なサロンとして実施。ケアプラザ以外の居場所づくり	1: 高齢者		楽しくつるげるサロンとして、参加者の出入りを自由に、ケアプラザまで相談に行きにくい方などの個別相談に対応し、サービスにつなげる。月1回、1月・8月は中止。		
2	男性向けサロン	平成29年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	自宅にひきこもりがちな方や、仲間作りをしたい方、運動器具を使用し体を動かしたい男性向けの居場所作り	5: 地域		年齢問わず男性を対象に、運動指導員の指示の下、マシントレーニングを行う。隔月1回		
3	男性限定健康歩き方教室	令和3年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	コロナ禍による筋力低下を改善するための取組。室内に加えて、密室にならない屋外での運動を取り入れ、安心できる場を提供	5: 地域		室内でストレッチを行い、晴れている時は、外に出て正しいウォーキングをする。月1回		
4	オンライン健康講座	令和4年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	自宅近くの居場所で、オンラインを活用し、健康づくりをする。	1: 高齢者		健康に必要な知識を学び、自分の生活と照らし合わせながら、質問等に対応。ゆずの樹より提供される飲み物を飲みながら、情報交換。月1回。8月は中止。		
5	たかた金曜会	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	参加者同士の交流と体操を中心とした介護予防活動の場を提供する。	1: 高齢者		ラジオ体操、ストレッチ、筋力アップ体操、合う着方講座など室内で実施できる体操を行う。月1回、8月は休み。		
6	終活・エンディングノート講座	令和4年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	港北区版エンディングノートの普及啓発	5: 地域		遺言書作成や相続等終活と併せて、エンディングノートの書き方講座。		
7	認知症サポーター養成講座	H29年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	認知症サポーター養成、地域の見守り手を育成	5: 地域		認知症への理解促進、地域で認知症の方を支える、		
8	認知症サポーターフォローアップ講座	R1年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	認知症サポーター養成講座修了者の中から希望者を募り、より深く認知症について理解を促す	5: 地域		認知症の医療的ケアや支援方法等、認知症について実践的に学ぶ。認知症サポーターを養成する認知症キャラバン・メイト希望者を募る。		
9	歌声ラララ	平成28	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の音楽が好きな人たちの交流、親睦を深め、コーラスを楽しむ。	5: 地域		春夏秋冬。四季の歌をみんなで歌う。(年4回)		
10	利用者会議	平成14	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	施設貸し出し団体とケアプラザでの意見交換、情報提供を行う。	7: その他		ケアプラザからの案内、事前アンケートの回答、質疑応答などを行う。		
11	3DEN'S	令和4年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	発達に心配があるお子さんと保護者が対象。地域で家族がつながることを目的とし、楽しい時間を過ごすと共に、話せる仲間を作る。	2: 障害児・者		外出支援、ケアプラザ内での調理、工作、レクなど子どもたちや保護者が交流を持てるよう配慮する。		
12	高田ふれあい作品展	平成30	1: 地域活動交流事業		貸館利用団体(者)だけでなく、地域住民の作品を展示することで、より多くの方にご来館いただく機会作り。作品展示の場として提供。	5: 地域		施設貸し出し団体の作品展示、発表の場とし、地域の方に活動を知って頂く。		
13	書初め教室	令和5年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	冬休みの宿題を講師に教わりながら行い、地域や友達との交流を図る。	4: 子ども・青少年		各学校の冬休みの課題や書きたい字を講師に教わり、書道に馴染んでもらう。(12月)		
14	あったかだ	平成24年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	心を病む方々やその家族が中心となり、地域の中で居場所を作る	2: 障害児・者		介護者をバックアップする形でのフリーサロン		
15	介護者のつどい	平成14年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護者支援(介護者の介護負担軽減や介護者同士の仲間づくり)	7: その他		隔月開催(偶数月)		
16	楽楽ウォーキング	平成24年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	ウォーキングをはじめのきっかけとなることを目的とする	5: 地域		高田地区保健活動推進員との共催事業。港北ボランティアガイドに協力依頼をしている。年10回(8月と2月休み)		
17	えがおカフェ	平成30年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	だれでも参加可能なサロン。色々な講座やイベントを開催。充実した生活の一環となれることを目的とする。	1: 高齢者		前半に各講座や介護予防教室を展開。後半はサロンになっている。		

<b>■ 事業</b> 1: 地域活動交流事業    2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業    4: 共催(1と2)    5: 共催(1と3) 6: 共催(2と3)    7: 共催(1と2と3)	<b>■ 事業の性質</b> 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1: 高齢者    2: 障害児・者    3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年    5: 地域    6: 事業者 7: その他
--	---	---

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	ふれあいコンサート	令和5年度	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	日頃コンサートに行く機会が少ない方々を対象に「生の音楽」を楽しんでもらうこと	5: 地域		1 ビートルズの曲を中心に子どもたちも楽しめる曲を数十局演奏。		
19	男性限定 メンズボイトレ	令和6年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	ボイトレニングを通しての介護予防	5: 地域		1 介護予防の講義、ボイトレニングの実践。年度末にはデイサービスでの合唱ボランティアを目指しての練習。		
20	ぼかぼかサロン高田	令和6年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護者支援(介護者の介護負担軽減や介護者同士の仲間づくり)	7: その他		1 奇数月(年数回)開催。エリア内の居場所を借用し、コーヒーなど飲みながら気軽に参加。		
21	救急講習会	令和5年度	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	いざというときのために 応急手当の知識と技術を身につけておくこと	6: 事業者		手当の基本、人工呼吸や胸骨圧迫の方法、AED(自動体外式除細動器)を用いた電気ショックなどを習得。		